

## 2011 年度前期経済学部 定期試験実施科目 講評

科目名（社会経済学初級α） 担当者（松尾 匡）

授業日：曜日（月・水）時限（5）

解答については、担当者の個人ホームページの「講義・演習」

<http://matsuo-tadasu.ptu.jp/kougi.html>

を参照されたい。本講評もそこに掲載している。

問題はほとんどが「練習問題」で、授業中解いている。一桁違いなどのまぎらわしい選択肢は極力避けているので、授業中の解き方をマスターしていればできるはずである。

評価方法は次の通り。

- ① 定期試験の素点は、各 2 点×50 問の 100 点満点で採点した。
- ② 2 回の小テストは、それぞれ、参加点 5 点+正解 1 問 0.5 点の 10 点満点で採点した。
- ③ 総合点は、①の素点の 0.8 倍に②の小テスト点 2 回分を加えて求めた。
- ④ 評価点は、各自の①の素点と③の総合点のうち、高い方を採用し、所定の基準にしたがって、A+、A、B を出した。
- ⑤ 評価点が 60 点に満たない場合、出席点を、遅刻なき出席 1 回 1 点、遅刻 1 回 0.75 点で計算して、60 点に至るまで評価点に加えた。その上で、60 点以上 70 点未満を C、60 点未満を F とした。

受験者ベースで、A+が 20.8%、A が 17.5%、B が 5%、C が 35%、F が 21.7%となり、両端が多く、真ん中が少ない分布となった。そのため、安易にゲタをはかせることが不可能であった。100 点は、受験者 120 人中 3 人であった。